

免許状教科	高等学校一種 公民		
科目名	宗教学	科目分類	教職科目
			経済学科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
			学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Religious Studies	開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年
ふりがな	こいけ たかのり	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input checked="" type="checkbox"/> 集中
担当者名	小池 孝範	修得単位	2 単位
授業のテーマ	宗教を様々な角度から捉えてみる。		
授業概要	現代日本における宗教の影響力はごく僅かでしかないように思われるかもしれませんが。しかし、ひょっとしたら、ごくごく当たり前になってしまっているために気づかれていないだけかもしれません。また、実は宗教に由来するものであるにも関わらず、それが気づかれていないだけかもしれません。この授業でわたしたちは、現代の宗教的態度を再確認・再発見し、宗教とは何か、また宗教のもつ意味や役割について考えていきたいと思います。授業は講義と演習の形式で行ないます。		
到達目標	社会における宗教の役割について理解する。		
授業時間外の学習	配布資料をよく読んで授業にのぞむこと。また、発表を行ないますので、そのための準備をしてください。		
履修条件	特になし		
授業計画			
第1回	オリエンテーション——現代日本人の宗教心		
第2回	宗教とは何か——宗教心と信仰心		
第3回	宗教を学ぶとは——宗教学の立場と見方		
第4回	宗教の諸類型（1）——有神教的宗教と無神教的宗教		
第5回	宗教の諸類型（2）——民族宗教と世界宗教		
第6回	宗教の構成要素——教義・儀礼・教団・体験		
第7回	宗教的世界観（1）——他界観・来世観		
第8回	宗教的世界観（2）——空間論・時間論		
第9回	ユダヤ教の基本的な考え方		
第10回	キリスト教の基本的な考え方		
第11回	イスラム教の基本的な考え方		
第12回	仏教の基本的な考え方（1）——インドの仏教		
第13回	仏教の基本的な考え方（2）——中国・日本の仏教		
第14回	神道の基本的な考え方		
第15回	まとめ——結局、宗教とは何だったのか		
第16回	定期試験		
テキスト	なし		
参考文献・資料	脇本平也（1997）『宗教学入門』講談社学術文庫、授業の中で適宜配布		
成績評価の方法	平常点＋授業内での発表＋試験		
オフィスアワー	授業終了後		

学生への  
メッセージ

教員免許状取得のための科目です。教えるということ意識しながら受講して下さい。